

広報
1月号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 近藤 勝
編集 広報部



「朝もや」 山梨県富士河口湖町・御坂峠

〈 主 な 内 容 〉

新年のご挨拶	理事長 近藤 勝	2~3	支部忘年会		
	副理事長 赤染清康、近藤昌和	3~5	城北支部	城北支部長 辻 忠敏	15~16
	東京返本加工協同組合理事長 工藤裕樹	5~6	城南支部	城南支部 井出一之	16
時の話題			文京支部	文京支部 梨本竜範	16~17
静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会		6~10	山手支部	山手支部長 長井義人	17
第6回 東京協組・関東商組との合同ゴルフ大会を開催			台東支部	台東支部 近藤達也	17
	広報部副部長 武田誠一郎	10	支部スケジュール		18
清風会「研修会と忘年会を開催」	広報部	10~11	お知らせ		
直納部忘年会を開催	広報部	11~12	「1・2月会議・催事予定」「訃報」「古紙価格」		18~19
印青連・大忘年会 青年部幹事長 工藤嗣人		12	共同購入についてのお知らせ		
青年部忘年会開催 青年部副幹事長 田中淳一		12~13	共同購入委員会		19
支部便り			会議概要 [11月・12月]		19~24
支部長訪問		13	編集後記 広報部副部長 武田誠一郎		25
「文京支部訪問」 山手支部長 長井義人		13~14	組合総合名簿の協賛広告について		25
「山手支部訪問」 江墨支部長 山口勝弘		14	広 告		26~30
「足立支部訪問」 城南支部長 坂田 智		15			

新年のご挨拶



東京都製紙原料協同組合
理事長 近藤 勝

新年明けましておめでとうございます。今年の正月も関東では穏やかな天気恵まれ、皆様方には良い新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より当組合に対し多大なるご支援・ご協力を頂き心から御礼申し上げます。本年は元旦から、配達された新聞の厚さ、重さに驚き、テレビを入れれば自動車の初売りコマーシャルに驚き、行楽地は何処へ行っても例年にない大渋滞に巻き込まれ、アベノミクスによる景気上昇所以かと実感した正月でした。

昨年暮れは都知事辞任問題、総理の靖国参拝問題等、何かと世相が騒がしかったようですが、何と言っても東京オリンピック決定が昨年一番のビッグニュースだったと思います。2020年まで

には消費税引き上げが二度行われる予定ですが、それを吹き飛ばす位の公共事業を始めとする膨大な産業需要が発生し、それなりの好景気が今後7年間は持続するでしょう。オリンピックともなれば来場者数、延べ1000万人、一日の都内の会場来場者数は92万人という数を移動、収容しなければなりません。そして、それだけではなく世界中に日本の観光、食文化、優秀な交通インフラ、諸設備を売り込む計画が多数用意されていて、楽観的かも知れませんが当分の間は好循環が続いて行くでしょう。又、円安により国内に次々と大型工場の建設計画が発表され設備投資が本格的になって来ているようです。

紙もあらゆる産業が良くなった後に動いて来ると思われませんが、IT化によるペーパーレスは依然として続いております。しかし、子供の教育現場までIT化して行くのはどうかと常々思っています。ITの活用は生活には有用とは思いますが、私自身SUICAを利用する事によって何処までの運賃が幾らなのか分らず、携帯を使用する事によって家内の電話番号も覚えていないという有様です。長年続いたゆとり教育が結果的には学力の低下を招き見直しが行われております。そうならない様に慎重に進めて貰いたいものです。

謹 賀 新 年

このような状況の中で当組合も今年は創立67年目に入りました。古紙の国際化も既に定着した現在、国内外の価格差から様々な問題が起こっております。古紙の持ち去り問題、超高値入札問題、上物と雑誌の価格差がなくなる品質問題等、今こそ業界を挙げて上物古紙の価格復元を要求して行かなければなりません。デフレ経済の終焉と共に製品価格を修正して頂き、これ以上、組合員の廃業、脱退がないよう、回収業界が生き残れる価格に、正に本年は回復させる年だと思います。又、組合会館の空テナントが埋まらない補填として、組合運営資金安定化の為に共同購入事業も少しずつ始まっております。広報紙やFAX等でご案内しておりますのでご協力をお願い致します。そして一昨年前から始まった支部長による他支部訪問も回を重ね、少しずつ支部員同士の交流も始まりました。今後は合同新年会のように支部内のお付き合いだけに留まらず、他支部との交流も大いに進め、少しでも仕事に役立つ情報を得る事が出来るような環境作りに取り組んで参りたいと思います。

今年が皆様にとって飛び跳ねる馬のように、元気で実りある一年になります様、心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



東京都製紙原料協同組合
副理事長 赤染 清康

組合員の皆様及び関係各位の皆様、新年明けましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりありがとうございました。本年もよろしくお願い申し上げます。

さて、2013年は、アベノミクスの影響で、少しずつではありますが、円安と株高が定着しつつありました。紙パルプ業界及び古紙業界においては、この円安傾向の善し悪しが表れてきています。製紙業界においては、輸入原燃料の高騰によるコスト増となり、収益を圧迫しつつあります。また他方では、円安による輸入紙の減少により、製品価格の値上げも行われました。

昨年の後半からは、消費税増税前の仮需が発生し、ほとんどの製紙メーカーでは、ラインがフル稼働

謹 賀 新 年

という話をよく聞きます。

古紙業界においては、内外格差の広がりや定着により、集荷業は更なる競争の激化が、問屋業は仕入価格の高騰による収益の圧迫という結果になりつつあります。

そしてさらに懸念されるのが、3月中頃から必ず訪れる消費税仮需の反動です。日本経済にどれくらいの影響がでるのか、図りかねております。

ただし、紙は消耗品なので、過去の消費税増税後の反動も3ヵ月程度だったことから今回もそう長くは続かないと予測しております。おそらく2014年の6月から7月頃から回復基調になるのではないのでしょうか。

中国の古紙需要は、中国バブルの崩壊と共に落ち込むものと言われておりましたが、中国経済は意外と底堅いように思われます。2014年の干支は、うま（午）ですので我が業界も、より速く疾走し一段と飛び跳ねる年になればと思っております。

最後になりましたが、今年も組合活動を頑張っ
て参りますので、皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしく
お願い申し上げます。

新年のご挨拶



東京都製紙原料協同組合
副理事長 近藤 昌和

新年あけましておめでとうございます。
皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお
迎える事とお慶び申し上げます。

昨年は、家庭紙ケントなどが一段階値戻りした
事は、とても喜ばしい事ではございますが、現状
としては、さらにもう一段階値戻りしても良さそ
うな状況の中で、メーカーの足並みが揃わず歯痒
い気持ちで新年を迎える事となりました。

我々の業界には、アベノミクスもまだ届かず、
ペーパーレスによる古紙の発生量の減少、そして四
月の消費増税により、どのような動きになるのか
など不安は、たくさんございますが、古紙価格の
値上がりを期待して今年が、組合員の皆様にとっ
てよい年でありますように祈念致しまして年頭の

謹 賀 新 年

ご挨拶とさせていただきます。
本年もどうぞ宜しくお願い致します。

新年のご挨拶



東京返本加工協同組合
理事長 工藤 裕樹

新年あけましておめでとうございます。
2014年の新春を迎え、東京都製紙原料協同組合並びに東京返本加工協同組合の組合員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は新年早々に新政権がスタートし経済活性化への期待感が高まる中でアベノミクス施策の進行により経済も徐々に回復基調となり、株価上昇や円安などが進み、経済活性化への期待が大きく膨らむ1年となりました。

しかし、世間では東日本大震災復興への取組みや原発問題、消費税問題、領土問題など、エネル

ギー政策や経済、外交問題に対してもまだまだ課題もあり、解決への着実な進展を願わずにはられません。また、昨年は2020年東京オリンピック、パラリンピック開催の決定、富士山の世界文化遺産決定など明るい話題もありました。今年こそ、閉塞感から抜け出し、元気な新しい政治体制の中で、産業経済の活性化と景気高揚、そして業界の更なる活性化と発展を強く願う思いです。

東京返本加工協同組合もお陰様で第49期(平成25年7月1日スタート)の事業年度に入っており、上半期終了時点での実績を見ますと古紙販売事業における状況は昨年の2度に亘る古紙の値下げにより、一部価格復元がなされているものの依然として厳しい状況下にあります。取扱量は前期の水準に保たれているものの、この厳しい環境下で、組合員の皆様のご協力を頂きながらの役職員の奮闘が結実していることを感じております。しかし、当組合の柱事業である共同販売に於いて国内需要に大きな変動はないものの、海外輸出においては輸出価格の堅調さから活発な状況となっており、今年こそ国内需要活発化への期待感は増すばかりです。出版販売会社様では返品率を抑制する施策が継続して実行されており、出版界や通信業界の電子化の加速化など、皆様が日々事業を

謹 賀 新 年

通じて実感されているように、取扱量の減少化傾向が進む中で、業界としての協力関係や事業間連携に対する認識もより一層必要になっていくものと考えております。

この様な厳しい現状をしっかりと把握すると共に業務の見直しや原価意識を常に持ち職務を遂行して行かなければならないと考えております。

東京返本加工協同組合は役職員が一致団結し、これまでにも増して組合員並びに出版販売会社様としてお取引の各社様との連携をより一層強固なものとし、この1年を奮闘させて頂きます。何卒、皆さまのご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

時の話題

静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会

[平成25年11月15日(金)午後2時00分～]

於) 富士商工会議所

出席者: 静岡県紙業協会家庭紙部会 24名

(内、家庭紙メーカー 20名)

静岡商組 10名 東京協組 11名

三団体代表挨拶

イデシギョー(株) 井出会長

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

現在の家庭紙メーカーは冷え込んだ状態で各社とも古紙原料が不足している。国内の集荷量や使用量は変わらないはずだが現実には不足している。家庭紙は国内での使用量は一定しているので古紙原料を供給して欲しい。9月のトイレットペーパーの輸入は3.5%減少した。輸入トイレットペーパーは国内の出荷の3.1%に当たる。輸入ティッシュペーパーは13ヶ月連続の輸入増となっており国内出荷の20%に当たる。輸入の家庭紙製品は東日本大震災から増加した。古紙原料が充分確保出来ないと国内の家庭紙製品の生産が減り、輸入製品が増えてくるのではないかと心配している。

近藤理事長 [東京都製紙原料協同組合]

静岡県紙業協会の皆様には日頃から大変お世話になり有難うございます。又、私どもの2年に一度発行しております組合員名簿に多くのメーカー様に広告のご協力を頂きまして重ねて御礼申し上げます。

今朝の新聞に今年の社会保障費が40兆円を越し、

謹 賀 新 年

毎年一兆円づつ増えているという記事が出ておりました。消費税増税もやむをえないと思いますが我々中小零細企業にも早く、アベノミクス効果が出てきて欲しいものです。

前回6月の会合以降、印刷、製本業界の苦境は全く変わらず古紙の発生も前年同月比では毎月減少を続けております。44社で調査しております上物古紙の在庫も前年比では家庭紙向け、DIP向け共に80%程度まで落ち込んでランニングストックを切る状況になっております。又、ここへ来て輸出の新聞、雑誌の価格が上昇しておりまして、国内も輸出も急激に引き合いが強まって来ました。仕入価格の上昇、仕入競争の激化等によって上物、裾物共に我々の使命である安定供給というものが大変難しくなっている状況でございます。

本日は問屋業界、集荷業界の両面からその辺の需給状況をご説明させて頂こうと思っておりますのでどうぞ宜しくお願い致します。有難うございました。

佐野理事長 [静岡県製紙原料商業組合]

古紙の不足の話が出たが、15年～20年前は古紙が不足すると製品の操短をした。古紙の不足は

色々な要因が重なっていると思われる。現在は上物古紙だけでなく裾物古紙も足りない。家庭紙メーカーの操業は上がっているので、製品価格の修正を期待して古紙原料の価格修正に結びつく事を望んでいる。

古紙全般の市況について

赤染直納部長 [東京都製紙原料協同組合]

古紙全般の市況は、関東商組48社の統計データを見ると10月の段ボールの在庫が前年と比べ10%減少している。ほとんどの問屋はランニングストック以下の状態である。新聞、雑誌も適正在庫を大きく下回っており国内の古紙は非常にタイトである。輸出価格は上昇しており特にミックス古紙が堅調である。輸出数量は前年と比べ増加していないのに、どうして国内がタイトなのか。原因は発生減にある。関東商組48社の統計データでは仕入状況は昨年から100%割れをしている月が多い。仕入よりも出荷が多く在庫が減少している。板紙メーカーはフル生産に近い操業で、古紙調達には苦勞しており原料在庫も底をついている。国内の景気が回復しないと発生は増えてこない。段ボールは2月に原料の価格修正をしているが新聞、雑誌はそのままである。各洋紙メーカー

謹 賀 新 年

はプレミアム価格を出して古紙を購入している。大きな輸出先である中国は徐々に景気が回復している。中国を含むアジアでも古紙の使用量が増えている。中国メーカーが古紙を手に入れるには価格を出さないと手に入らない。日本の古紙は割安感が感じられているようである。古紙の国内価格と輸出価格の差が大きく広がってきている。

家庭紙原料について

鈴木直納委員 [東京都製紙原料協同組合]

洋紙メーカーは前倒しで出荷が増えている。円安の関係で輸入紙が減少している。家庭紙古紙は7月からメーカーの需要が増え、引合いが強くなっている。東京協組44社の上物在庫データでは6月に在庫が5,000トン进行切り、過去にない低水準の在庫状況である。8月は前年対比で約1,000トンの在庫が減少しており各メーカーから古紙の取り合いが出てきている。雑誌の輸出価格が上がっておりシュレッター、オフィス古紙も国内外で引合いが強い状況。洋紙メーカーの出荷が増加しており家庭紙メーカーへの古紙の供給は、かなりタイトな状況となっている。

オフィス古紙について

高橋オフィス古紙委員長

[東京都製紙原料協同組合]

オフィス古紙は主に一般廃棄物業者が集荷している。雑誌価格が上昇するとオフィス古紙の価格も上昇する。価格が上がるとアウトサイダー業者が多く参入してくるので、適切な対応を取らなければならなくなる。オフィスではOA機器やPC、タブレットが整備され、これからはあまり古紙が出て来ないのではないかとと思われる。ゴミ関係でもリサイクル率が天井で、これからはそんなに発生は期待出来ないのではないかと。

集荷について

長井集荷部長・鈴木(邦)集荷委員

[東京都製紙原料協同組合]

産業古紙の発生は悪く、回収は昨年に比べ20%~30%減となっている。相変わらず印刷、製本業界が不振で倒産や廃業する会社が増えている。古紙の回収は行政回収と集団回収があり持ち取り問題が多発している。製本屋等から出る産業古紙の発生は減少している。

以前は繁忙期が年内で3月と10月にあったが、今は3月だけと流れが変わってしまった。発生が

謹 賀 新 年

減少しており雑誌の輸出価格が上昇している。しかし、家庭紙古紙の価格帯は前年より低い水準にあり選別費が出ない状況にある。家庭紙向け古紙の選別は意欲が沸かないのが現状である。1日も早く製品価格が上がる事を期待している。

静岡の状況について

[静岡県製紙原料商業組合]

発生が悪く内容的にはほとんど関東と同じである。特に製本、ケント系の発生が悪い。上物の発生が悪い原因の一つは、雑誌の輸出価格上昇で、選別をしなくても納められる雑誌に流れて行ってしまっているからである。

家庭紙メーカーの現状

[静岡県紙業協会家庭紙部会]

古紙の入荷状況は悪く不足しており、現状は厳しい。入荷の際、トラックの積載量が減りタイト状態。

製品の出荷は非常に順調だが、製品在庫は減少している。

注文が多いが操業は何とか維持している。色々な紙を使い配合を工夫している。

年末に向け古紙不足が心配される。

ティッシュペーパーのパルプ物の大手メーカーは、自社の生産量を下げ製品の価格修正に結びつけたようである。

再生紙の中小メーカーも製品価格の修正を期待しているが、輸入製品との競合が浮上しており慎重な様子である。

中小の家庭紙メーカーは製品価格がもう一段の修正がないと経営が苦しい状況にある。

静岡商組より

平成26年5月14日に静岡商組の誕生50周年の記念式典を行う。同時に50周年記念誌を発行する予定である。式典には各団体や関係組合からの出席をお願いしたい。

質疑応答

M：メーカー G：原料問屋

Q-M：中国の輸出ライセンス問題で輸出量が増えていると聞いているが？

A-G：大手商社や大手メーカーは関係ない。中小の商社やメーカーが翌年も輸出をスムーズにする為、実績作りをしている。期限が11月迄なので輸出商社は玉を欲しがっている。

謹 賀 新 年

Q-G: トイレットペーパーの幅を変える事が簡単にできるのか?

A-M: 今は簡単に出来る。商品が余った際、製品価格を下げる為に使っている。しかし、梱包や配達コストが上がるので、出来るだけスタンダードに近づけるよう各メーカーは努力している。

Q-M: 集荷で産業古紙の減少が20~30%との発言があったが、データはあるのか?

A-G: 集荷の実際のデータは取っていないが、東京協組44社の上物古紙データを目安に判断している。注目点は模造・ケントの在庫が30%以上減少している点である。

Q-M: 家庭紙向け古紙とDIP向け古紙の違いは?

A-G: 品質が違い価格帯も違う。DIP向けの方が価格は高い。

第6回 東京協組・関東商組との合同ゴルフ大会を開催

広報部副部長 武田 誠一郎

年末恒例となっている東京協組・関東商組交流

ゴルフコンペが笠間カントリークラブで5組18名の参加で開催されました。クラブ到着時、気温0度でしたが、風もなく穏やかで気温もだんだんと上昇していき小春日和の中で紅葉は、清々しく感じられました。

今日は、近藤行輝さんと宮内啓吾さんと3人でのラウンドでした。

私は、相変わらずのゴルフでしたが近藤さんのショートホール・ニアピンOKバーディは圧巻でした。また、ホールインワンを目の当たりにするのかもしれない素晴らしいショットでした。

私も早くホールインワン出来るように精進したいと思います.....

優勝 渋谷則幸

準優勝 古田敏一

3位 近藤行輝

清風会「研修会と忘年会を開催」

広報部

上野・精養軒にて12月度の理事会の後、「清風会」の研修会と忘年会が開催されました。

今回は日本紙パルプ商事(株)から講師を迎えて講演をして頂きました。最初に、JP(日本紙

謹 賀 新 年

パルプ商事)の古紙事業本部の安藤本部長より会社紹介があり、ジェーピーホームサプライ(株)営業部の上野副本部長より「日本の家庭紙製品について」JPの古紙貿易課の大久保課長より「上物古紙の輸出について」のお話がありました。



研修会終了後、忘年会会場に移動し清風会の忘年会がスタートしました。廣田常任理事の司会で、最初に坂田秀一郎会長と近藤勝理事長の挨拶を頂き開宴となりました。



忘年会には研修会にご協力頂いたジェーピーホームサプライ(株)の上野副本部長と日本紙パルプ商事(株)の大久保課長にご参加頂きました。美味しい料理とお酒が入るにつれて、楽しい時間があっという間に過ぎていきました。

直納部忘年会を開催

広報部

直納部忘年会が12月19日(木)上野・東天紅「海燕亭」で行われました。

年末の忙しい中でしたが直納部員とご来賓で総勢25名が参加しました。



来賓には、近藤(昌)副理事長にご参加をいただきました。また、日頃、共販輸出でご協力頂いている商社の(株)松本光春商店と国際紙パルプ商事(株)にもご参加いただき、宴会前に海外の

謹 賀 新 年

市況についてお話をしてもらいました。

このところの中国経済の停滞と来年4月の消費税率引き上げにより、古紙の市況がどう動いていくのか注目される中での忘年会となりました。

印青連・大忘年会

青年部幹事長 工藤 嗣人

昨年の12月12日(木)、印刷青年連絡協議会(印青連)の大忘年会に青年部からも多数出席しました。印青連加盟11団体の他に、ベンダー様やメーカー様もご参加され、総勢ゲストは189名。お手伝いいただいたスタッフも入れると200名以上のビックイベントになりました。実行委員となる印青連・事業委員会、私は副委員長としても出席しました。歌手「山岸リサ」ミニライブ&サイン会、ポールダンスにゴーゴージャーによるセクシーダンスショー。そして吉本芸人によるライブなど・・・盛り沢山の忘年会となり、4時間という長丁場を飽きさせない会となりました。

青年部忘年会開催

青年部副幹事長 田中 淳一

去る12月10日(火)に青年部忘年会を幹事長の(株)工藤商店 工藤嗣人さんの計らいにより、六本木のTEIEN TOKYOと言う古民家の中庭で貸切バーベキューを開催致しました。六本木にとお思いでしょうが、東京のど真ん中で木々が生え土がある広大な中庭があるとは想像もしていませんでした。

天候も良く12月にもかかわらず寒くもなく、辻部長のご挨拶で開宴となり今回は部員のみではなく、家族も参加OKとの事でしたので中庭には犬も数匹おり子供達共々、楽しく盛大なものとなりました。



2020年東京オリンピック開催決定やアベノミクス効果など先行き良い話で盛り上がりあつと

謹 賀 新 年

いう間の中に中締めの間となっていました。
 最後は私の発声により 威勢よく三本で締めて記念写真を撮りお開きとなりました。
 幹事長様 いつも素敵な所など青年部一同日頃より感謝し厚く御礼申し上げ ご報告と致します。

支部便り

支部長訪問

一昨年より各支部会に他の支部長が訪問しています。目的は支部間のコミュニケーションを深め支部の活性化に役立てる目的です。おかげさまで昨年の6月に1支部を除く9支部を訪問し、今回は2周目の訪問となりました。

訪問先は山手支部の長井支部長が近藤理事長と夏目専務理事と共に文京支部を、江墨支部の山口支部長が山手支部を、城南支部の坂田支部長が足立支部をそれぞれ訪問しました。

以下は訪問した三人の支部長がアンケート形式で答えた感想です。

「文京支部訪問」

山手支部長 長井 義人

訪問日：平成25年11月8日（金）

会場：大塚「すし常」

参加人数：9名



- ①雰囲気：良かった
- ②会場はどんな感じ：良かった
- ③理事会の報告：あった
- ④協議事項は：あった
忘年会の日時、場所等について
- ⑤懇親会での話題：支部の海外研修でインドネシアに行った話。
- ⑥何か参考になる事はありましたか：なかった。
自分の支部とあまり変わらない。

謹 賀 新 年

- ⑦ご自分の支部で実行したい事はありましたか：
支部員の出席率アップ
- ⑧同行者の感想：これを機会に他の支部と合同
で支部会を開催したりして交流を深めてみては
- ⑨今回の訪問に参加してみて：良かった
- ⑩今後、この企画を続けたいと思いますか：思う
- ⑪今回の訪問で感じた事：今後も他支部との会話を
したい

「山手支部訪問」

江墨支部長 山口 勝弘

訪問日：平成25年11月19日（火）

会 場：江戸川橋「鮭やなぎ」

参加人数：11名

- ①雰囲気：とても和やか
- ②会場はどんな感じ：良かった
- ③理事会の報告：あった
- ④協議事項は：なかった
- ⑤懇親会での話題：若手部員の組合行事への参
加の勧誘
- ⑥何か参考になる事はありましたか：なかった。
- ⑦ご自分の支部で実行したい事はありましたか：
なかった

- ⑧同行者の感想：これを機会に他の支部と合同
で支部会を開催したりして交流を深めてほし
い
- ⑨今回の訪問に参加してみて：良かった
- ⑨今後、この企画を続けたいと思いますか：思
う
- ⑩今回の訪問で感じた事：場所柄、仕事の規模
を広げる事が難しく、細々と続けている業者
が多い事を知り、その土地々で考えもしなかつ
た苦勞が有るのだなあとと思った。
支部間の交流を深める事で色々な意味で視野が
広がって、お互いにプラスになると思いまし
た。
- ⑪その他：山手支部の支部会は我々支部の支部
会と雰囲気に近いので親近感が持てた。



謹 賀 新 年

「足立支部訪問」

城南支部長 坂田 智

訪問日：平成25年12月20日（金）

会 場：北千住「明日香本店」

参加人数：5名



- ①雰囲気：とても良かった
- ②会場はどんな感じ：良かった
- ③理事会の報告：なかった
- ④協議事項は：なかった
- ⑤懇親会での話題：持ち去り問題
- ⑥何か参考になる事はありましたか：なかった。
自分の支部とあまり変わらない。
- ⑦ご自分の支部で実行したい事はありましたか：
なかった

⑧同行者の感想：これを機会に他の支部と合同で支部会を開催したりして交流を深めて

⑨ほしい

⑨今回の訪問に参加してみて：良かった

⑩今後、この企画を続けたいと思いますか：思う

⑪今回の訪問で感じた事：皆さんが温かく迎えてくれた。

支部忘年会

城北支部 忘年会開催

城北支部長 辻 忠敏

城北支部忘年会を12月6日（金）19時より赤羽駅近くの、味所 佐竹にて行いました。

近年、参加者が少なかったのですが、久しぶりに12名の出席者で、座敷が手狭になってしまい大変申し訳なかったです。しかし狭いがゆえ、皆の距離が近く会話が大いに弾んだのは幹事としては嬉しかったです。支部会を2～3ヶ月おきに開催するようにしたため、連絡、協議事項に少々時間がかかりましたが、程なくしてコンパニオンが到着し、密着度の高い座敷にムリムリ入って頂き、大汗をかきながらお鍋&お酌をして頂きました。

謹 賀 新 年

料理の方も「これぞプロの味！」で、赤羽にもこんな良い店があったのかと驚きました。盛り上がった宴会は2時間半を越えお開きとなりました。

青年部幹事長工藤さん、ナイスなお店&コンパニオンの紹介有難うございました。二次会は赤羽定番の赤ちょうちん（赤ホッピー？）にて大いに盛り上がった事も御報告しておきます。最後に、支部員の減少、不参加が止まりませんが、参加してこそその支部会ですので、来年度も支部活動へのご協力をお願いいたします。

皆さん、本年度お疲れ様でした！

城南支部 忘年会開催

城南支部 井出 一之

12月7日（土）六本木ヒルズ森タワー51F「六本木ヒルズクラブ」において、支部員10社12名参加のもと近藤理事長をお迎えして、城南支部の忘年会が開催されました。

幹事の（株）共益・商会 赤染社長の進行で、坂田支部長の挨拶に続き、近藤理事長の乾杯の発声で、開会されました。眼下に広がる素晴らしい東京の夜景とお店の雰囲気によって圧倒され、慣れないフォークとナイフを使っての会食に、“どちら側

のフォークから使えばいいの？”と思案顔の人もいたように思われますが、美味しいシャンパンやワインなどアルコールが進むにしたがって、会話も弾み、天空の城での宴も和やかなうちに時が過ぎていきました。

坂田相談役の中締め。来年も元気でよい年になることを祈念し、支部の若手を代表して後藤秀樹さんの音頭で、万歳三唱をしてお開きとなりました。最後に、今回の幹事を務めていただきました、（株）梶谷商事様と（株）共益・商会様に、この場をお借りして改めて御礼申し上げます。



文京支部 忘年会開催

文京支部 梨本 竜範

12月9日月曜日に駒込の寿司割烹「魚那」にて文京支部忘年会を開催しました。担当幹事の吉

謹 賀 新 年

田商店吉田さんに会場等の手配をして頂き、本部から近藤理事長、近藤副理事長、長井山手支部長、夏目専務理事、その他に(株)宏文社の乗附様、大同生命様、(株)ウィル・プロモート様に御参加頂き、総勢19名とコンパニオンの方4名で盛大に行われました。

お刺身やてんぷら、お寿司などおいしい食事、お酒やワイン、焼酎その他いろいろな飲み物を沢山頂きました。文京支部忘年会で毎回行われているビンゴ大会を今年も行い、近藤理事長が一番にビンゴを獲得。文京支部員は3等までに入賞できなかったり、いろいろな意味で盛り上がり、楽しい忘年会でした。

最後に集合写真を撮りお土産を手に散会となりました。来年も宜しくお願い致します。



山手支部 忘年会開催

山手支部長 長井 義人

12月21日(土) 鮎やなぎで山手支部の忘年会を行いました。

当日は、支部員と青年部あわせて13名にご来賓として近藤理事長、赤染副理事長、齋藤文京支部長、大柴様に参加していただきました。

乾杯のご発声を赤染副理事長に頂き会がスタートしました。コンパニオン4名も加わり大変、盛り上がり2時間が、あっという間に過ぎてしまいました。とても楽しい忘年会を開催できましたと思います。中締めは鈴木理事にして頂き、最後に大

柴様に集合写真を撮って頂き散会となりました。26年の山手支部は業界の発展のために頑張っていきます。



台東支部 忘年会開催

台東支部 近藤 達也

平成25年11月15日(金) 浅草「お多幸」において台東支部の忘年会を開催しました。今回も幹事さんの計らいで、趣のある店構えに下町情緒溢れる雰囲気の中、近藤昌和支部長の挨拶に始まり、おでんを中心に美味しい料理を頂きました。

終始和やかにお酒も進み楽しいひと時となりました。宴席の中で、古紙の発生が少なかった事なども話題に上がりましたが、新年はアベノミクスの経済効果を追い風に古紙業界も活気づく事が期待出来るのではという声もありました。

今年の参加者は8名でしたが、より多くの方が参加出来ればと感じました。微力ではありますが、来年も組合活動に協力していきたいと思ひます。



♪ことわざミニ知識♪

「羹（あつもの）に懲りて膾（なます）を吹く」

熱い料理も吹いて冷ますことから、一度しでかした失敗に懲りて、必要以上の用心をすること。

人間は失敗するまで、物事を甘くみる傾向にあるが、一方で一度失敗をしてしまうと、過度に警戒をする傾向もある。

太平洋戦争に敗れ軍部の暴走に懲りた経験とか、原発事故を目の前にしたトラウマなど、まさに日本人が問われている問題でもある。

支部スケジュール

千代田支部

支部会 2月 7日（金）菜の花

支部会 3月 7日（金）菜の花

中央支部

支部会 2月14日（金）きくち

文京支部

支部会 2月10日（月）東明飯店

支部会 3月10日（月）すし常

台東支部

支部会 3月（日にちは未定）組合会議室

荒川支部

支部会 2月10日（月）町会会館

足立支部

スケジュール未定

山手支部

支部会 2月20日（木）鮎やなぎ

支部会 3月20日（木）鮎やなぎ

城南支部

新年会 2月1日（土）又は8日（土）

渋谷「藤むら」

江墨支部

新年会 2月20日（木）うさ美

支部会 3月20日（木）うさ美

城北支部

支部会 2月は休会

支部会 3月14日（金）場所未定

お知らせ

1月・2月会議・催事予定

〔1月会議・催事予定〕

1月30日（木）センター業務委員会（pm2:

15～）センター会議室

〃 全原連新年会（pm5:00～）

浅草ビューホテル

〃 東印工組 新年会

帝国ホテル（pm6:00～）

1月31日（金）東京返本加工協同組合新年会

（pm6:00～）上野・東天紅

〔2月会議・催事予定〕

2月 1日（土）東資協新年会

お茶の水ガーデンパレス

（pm5:00～）

2月 5日（水）共販輸出検討委員会

（pm3:00～）

〃 常任理事会（pm3:30～）

理事会 (pm5:00～)

組合会議室

2月 7日 (金) 富士貨協 荷主懇談会 講演会
(pm3:00～)

懇親会 (pm5:00～)

ホテルグランド富士

2月 8日 (土) 集荷部新年会 (pm6:30～)
浅草「貴乃」

2月21日(金) 関東地区委員会(pm2:00～)
センター会議室

2月27日(木) センター業務委員会 (pm2:
15～) センター会議室

〃 全原連 役員会 (pm3:30～)
センター会議室

[訃報]

江墨支部：(株)松井紙業 (代表者 松井隆宏
様)のご母堂 松井花江 様 (享年94)が
平成25年11月29日にご逝去されました。

古紙価格

[東資協の古紙4品の標準売値]

[東資協の古紙4品の標準売値]

平成25年12月10日現在

新聞 9円～10円(下値上昇)

雑誌 6円～8円(横ばい)

段ボール 8円～9円(横ばい)

色上(並) 6円～8円(横ばい)

共同購入についてのお知らせ

プレス機のオイル交換について

共同購入委員会

昨年7月より共同購入委員会で検討してきました
第1号品目がプレス機のオイル交換に決まりました。
組合を通じて通常より格安での交換が可能と

なります。

昨年実施した事業所は4ヶ所あり、処理のスピード
や細かな対応について高い評判を頂いております。
見積もりを取って比較して頂けると分かります
が、1,000リッターのオイル交換で約5万円
近い差が出ております。

どうぞこの機会に是非、ご利用くださいますよう
お願い致します。

手続きは簡単です。組合にご連絡いただき「プレ
ス機オイル交換申込書」を受取り、必要事項をご
記入し組合宛てにお送り下さい。交換時のレート
は2ヶ月に1度変更されますが1月と2月は昨年
末と同額です。尚、給油条件により追加金が発生
する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

会議概要 [11月・12月]

11月度定例理事会

[平成25年11月6日(水)] 於) 組合会議室
出席理事30名・監事0名

近藤理事長挨拶

10月、11月は本来ならば産業古紙も年間最大の
発生期であるわけですが、今年は全く発生が好
転することなく印刷、製本業界も引き続き厳しい
状況が続いているようです。洋紙メーカーは春に
続いて秋の値上げに取り組んでおりますが、印刷
業界の抵抗がかなり強く難航していると聞いてお
ります。そのような中ですが、家庭紙については
出荷が大変順調で欠品も出ているという話も聞か
れ、原料の引き合いはかなり強くなって来ており
ます。後ほど直納部から詳しく報告があると思
いますので宜しくお願い致します。

今月は富士市で家庭紙3団体懇談会が開催され、月末には関東商組との合同コンペもあります。又、来月の理事会終了後は、早いもので12月の清風会講演会・忘年会となります。年末のお忙しい時期に入りますが、是非とも大勢の皆さんのご出席をお願い致しましてご挨拶と致します。

[各部報告]

[総務部]

組合会館2階のテナント募集は依然として進展がない。各支部会等で希望者がいないか確認してほしい。

[直納部]

11月度の共販輸出は2社が入札に参加した。入札の結果は、前月と同じ価格で国際紙パルプ商事(株)が落札した。仕向地は中国で、業者の報告では「中国の紙、板紙製品の需要は依然、低迷していますが輸出国における古紙の供給力が低下し、対中価格は上昇傾向にあります。ただ現在の古紙価格の上昇は製品需要が要因でないため大幅な価格上昇はないと思われます」との事。また他社のコメントでは「韓国向けの新聞、雑誌は引合いが強い。中国向け雑誌も同様、天井感無し」との事。

関東商組の共販輸出も輸出価格が上昇となっている。輸出は円安の影響や中国の需要回復により強含みである。

[品目別]

[新聞、雑誌] 新聞は発生が少なく、国内の古紙はタイトな状態。国内外での価格差が広がっており、国内メーカーはプレミアム価格を出し輸出並みの価格となっている。

雑誌も新聞と同じ状況。国内外の古紙価格の差が広がっており消費も順調。

[段ボール] 国内の需要は回復している。供給は前年を下回る。問屋在庫は減少している。加工品、飲料向けが好調。メーカーからは引続きプレミア

ム価格が出ており引合いは強い。今後、メーカーの増産で古紙の取り合いが激化するのではないかとと思われる。

[家庭紙] 問屋在庫は低水準で推移。メーカーの操業は順調。一部メーカーの新マシンが稼働するとタイトになるとと思われる。各メーカーは古紙の確保のためプレミアム価格を提示してきている。昨年2度にわたり原料の値下げがあったが、まだ値戻しの気配は出ていない。

[返本関係] 10月の発生は変化ない。返本雑誌が少なくなっており古紙の確保が大変である。

[オフィス系] 発生は少なく、家庭紙メーカーは古紙原料が足りない状態。オフィス古紙の価格は、雑誌の輸出価格に左右される。

[集荷部]

10月に入り印刷、製本関係は状況に変化がない。発生は少ない。古紙価格の値戻しに期待したい。プレミアム価格が出回っているが集荷にとってはメリットがない。

[広報部]

広報11月号は組合総合名簿と組合案内パンフレットと共に11月11日に発送する予定である。尚、組合総合名簿の協賛広告にご協力いただいた企業、団体に対し感謝の意を含め、広報11月号より2年にわたり名簿に掲載した広告を各1回無料で掲載する。

[事業部]

共同購入について。プレス機のオイル交換について11月より実施する事になった。希望の方は「プレス機オイル交換申込書」を事務局へ提出してほしい。

新年会は司会、中締めを江墨支部と城南支部で担当する。出し物は江墨支部より小学生による「ダンス」を予定。

[青年部]

10月23日に青年部主催の懇親ゴルフコンペを

宇都宮の鶴カントリー倶楽部で開催し、理事長より理事長賞を出していただいた。

11月12日に幹事会と部会を開催予定。11月22日～23日に王子マテリアル日光工場を視察予定。

[近代化推進委員会]

需給委員会：平成26年2月9日～13日インドネシア視察を予定

[支部報告] 中央支部：11月29日（金）支部会、城北支部：12月6日（金）忘年会

[その他]

協議事項

- ・古紙持ち去り問題について：前回の理事会で「持ち去り行為」の条文を東京協組の規約に載せる事になったが、総会の承認が必要であった。平成26年1月18日の新年会前に臨時総会を開き承認を得る事となった。
- ・清風会講演会の講師を洋紙メーカーの日本製紙に依頼する。尚、了承出来なかった場合は、家庭紙メーカー（静岡県紙業協会家庭紙部会）に依頼する事とする。

集直合同委員会

[平成25年11月11日（月）] pm5:00

於）組合事務局

出席委員24名（直納17名・集荷7名）

市況全般について

国内では、全ての古紙が不足している。古紙価格は段ボールのみ2月に価格修正されたが、新聞、雑誌はそのままである。メーカーは古紙の入荷がタイトとなっており、一部ではスポット価格やプレミアム価格が横行している。関東商組の共販輸出では高値での落札が続いている。輸出価格との差がひらいてきている。

家庭紙について

発生は非常に悪い。古紙が不足しており問屋在庫はきわめて低い。東京協組44社の上物古紙在庫報告では、過去1年で最低の在庫となっている。

メーカーは現在、フル操業中。今後は消費税増税による仮需が出てくると予想される。

家庭紙の原料価格は今年の価格修正から値戻しが行われていない。輸出価格と比較すると家庭紙古紙は国内のオフィスミックスとほぼ同じ価格帯となっている。

集荷の状況

発生は前年に比べ20%～30%減少している。今後、発生増は望めない。

今の古紙価格では選別費が出来ない為、集荷先で選別をしていない場合が多い。

各問屋の状況

輸出価格と国内メーカーへの納入価格との格差が広がっており安定供給をするためには国内メーカーへの納入価格の修正が必要となっている。輸出価格が高いと異種業者が選別をしないで持って行ってしまふ。玉が少ないところへ集荷と仕入が競って価格が上がってしまう。ミックスに負けないくらいの価格帯が必要。需給バランスが崩れている。安定供給をするためには原料価格の修正が必要となってくる。

古紙センター関東地区委員会

[平成25年11月22日（金）] pm2:00～

於）古紙センター会議室

[需要動向] 13/10月 単位トン、

() は対前年同月比、在庫の() は在庫率

「関東商組32社実績」

[新聞]	仕入	60,812(93.6%)
	出荷	63,232(94.0%)
	在庫	8,031(12.7%)

[雑誌]	仕入	52,718(95.9%)
	出荷	52,890(97.9%)
	在庫	7,633(14.4%)
[段ボール]	仕入	131,813(99.8%)
	出荷	132,619(102.7%)
	在庫	12,102(9.1%)
[関東・静岡実績]		
[新聞]	入荷	211,362(101.2%)
	消費	205,737(103.9%)
	在庫	118,284(57.5%)
[雑誌]	入荷	116,782(96.6%)
	消費	111,935(93.4%)
	在庫	38,328(34.2%)
[段ボール]	入荷	327,132(111.7%)
	消費	329,494(108.3%)
	在庫	106,300(32.3%)

[業者側コメント]**[新聞・雑誌・段ボール]**

10月の発生は、段ボール以外は減少している。新聞は全体では発生減だがチラシが増加している。3品合計では発生、在庫とも減少。輸出価格との内外格差が広がっている。

[上物古紙]

産業古紙の発生は前月と変わらず低調。家庭紙は出荷が多くフル操業しているが生産が追いつかない状況。各問屋は古紙が不足しており追加注文には答えられない。大手の家庭紙メーカーはティッシュペーパーの製品値上げをしたが、一方で輸入製品が入ってしまい、中小メーカーでは製品値上げに慎重になってしまっている。発生が減少しており東京協組44社の上物古紙在庫データは家庭紙向け、DIP向け古紙とも前年と比べ大きく減少している。

[メーカー側コメント]

10月は新聞の消費が好調。雑誌は入荷ベースが

上がり消費も堅調。段ボールは9月の中旬から生産が上がってきた。家電、自動車、食品と幅広く伸びてきている。

古紙センター業務委員会

[平成25年11月27日(水)] pm2:15～
於)古紙センター会議室

- [1] 集団回収実施団体への感謝状交付について
(関東地区委員会推薦)
- [2] 第2回中日古紙セミナーについての概要報告
- [3] 全国小中学校“紙リサイクル”コンテスト
2013金賞受賞者表彰式 12月14日
(土) pm12:45 Hランドパレス
- [4] 古紙の需要・市況動向について
*ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連 平成25年度第6回 理事会報告

平成25年11月27日(水)

15:30～16:40 古紙再生促進センター
理事・監事64名：出席64名
(内、委任出席34名) 欠席0名

- (1) 古紙リサイクルアドバイザー認定申請
(理事会上程 承認)

・リサイクルアドバイザー：11月15日
12社 27名 (累計442社 2313名)

- (2) 古紙持ち去り行為撲滅に関する要望書案
(理事会上程 以下の通り決定した)

配布資料を各組合に持ち帰り、検討することとなった。内容についての意見がある場合は、全原連事務局に連絡をし、そこでとりまとめを行うこととした。

なお、提出時期等については、改めて経済産業省と協議する。

(3) 平成26年通常総会における役員を選任

(理事会上程 承認)

単組別役員(理事・監事)候補者数については、役員数を見直すべき特段の事情が生じていないことから、現在の役員数(64名)と同数とする。選考委員の選出依頼について、平成26年2月7日(金)までに「選考委員候補者届出書」を理事長まで提出する。

その他報告事項

○経営革新委員会 第4回 報告

- ・段ボール古紙検取引きの透明化について
- ・J-BRAND 表示ラベル貼付実施に伴う諸案件について
- ・品質管理責任者試験について
- ・古紙商品化適格事業所に於ける廃棄物再生事業者登録実態調査
- ・全原連近代化推進事業の内「優良性評価事業」の収支について

○消費税率の引上げに伴う消費税の円滑かつ適正な転嫁について(経済産業省)

「消費税転嫁対策特別措置法」に従って消費税を適正に転嫁する事を求めている。

○リサイクルシステム議員懇談会会長と紙業関係団体との懇談会(10月31日開催)

出席団体：製紙連 ・古紙再生促進センター
・日資連 ・全原連

甘利会長の挨拶

容り法の見直し・古紙持ち去りの撲滅対策

- ・2020年東京オリンピックに向けた古紙業界の動き

○古紙持ち去り問題意見交換会概要

出席団体 ・全原連 ・関東商組 ・日資連
・関資連 ・東資連 ・東京協組

・神奈川R団連 ・東り協会

・識別制度の実施状況

登録予定車数 計294台(累計873台)

1 2月度定例理事会

[平成25年12月4日(水)] m5:00～

出席理事23名・監事0名 於)組合会議室p

近藤理事長挨拶

早いもので今年もあと1ヶ月を切りました。相変わらず中国は防空識別圏設定等、強硬な手段で領土拡大を図っておりまして日中の友好関係修復はまだまだほど遠い感がしております。中国は日本の古紙輸出の8割を占める重要な国です。今回のアメリカ副大統領の訪日、訪中で打開策が出ないか期待しているところでございます。

今年は古紙価格が下がり続けた昨年に比べ、あらゆるものが好転してきた感のある一年でしたが、まだまだ我々業界にアベノミクスは来ておりませんが、裾物も一部大手メーカーが価格修正を行いました。他社は静観を決めておりますし、家庭紙原料も不足感が強まっているもののまだ価格修正にまでは至っておりません。

東京オリンピックが決まり、新たな経済再生に入っておりますが、来年こそは我々業界に春が来ることを切望しているところでございます。本日はこの後、清風会が開催され長時間になりますが、最後まで宜しくお願い致します。又、当組合業務部長の坂田さんが、先日仕事に指を切断してしまふという事故に遭ってしまいました。年末で何かと忙しいことと思いますが、怪我、災害のないよう気を付けて頂きます様お願い致しましてご挨拶と致します。

[各部報告]**[総務部]**

組合会館2階のテナント募集は依然として進展がない。

[直納部]

12月度の共販輸出は2社が入札に参加した。入札の結果は、国内を上回る価格で国際紙パルプ商事(株)が落札した。

仕向地は中国で、業者の報告では「中国における製品需要は伸び悩んでおり段原紙メーカーを中心に各メーカーの操業は低下、その影響で原料価格は下落基調にあります。米国産古紙の下落幅が大きく、日本古紙もつれ安になる可能性があり、年明け以降の価格動向が注目されます」との事。また他社のコメントでは「中国の段ボールの引合いは軟調で白板原料は好調持続」との事。関東商組の共販輸出では雑誌の輸出価格が上昇している。ミックスは高値で引合いが強い。段ボールは調整ぎみ。中国メーカーの統廃合が行われているが幅は小さい模様。

12月に一部の洋紙メーカーは古紙原料の価格修正を発表したが他社は静観の模様。国内の洋紙メーカーはフル操業で古紙が足りない状況。

[品目別]

[新聞、雑誌] 円安の影響で雑誌古紙の輸出価格が上昇している。又、プレミアム価格での取引が出てきている。

[段ボール] 12月に一部の洋紙メーカーが原料の価格修正をした。仮需等による古紙の引合いは強い。中国の経済は停滞ぎみだが、それ以外のアジアの国々の経済は拡大している。

[家庭紙] 11月の家庭紙原料の発生は悪い。タイトな状況である。

[返本関係] 11月の発生は昨年を少し上まわった。一部洋紙メーカーで雑誌の価格修正があった。出版物は輸出だとミックス扱いが多い。ビニール表紙などの禁忌品を含んではいるが、選別によりミックスより少しでも高く売れるようにしたい。

[オフィス系] 発生は12月に入れば多少は増えてくると思われる。年内、正月に向け家庭紙メーカーは生産を強化する。原料を古紙問屋以外から集めている動きが見受けられる。

[集荷部]

発生が少なく集荷は厳しい状況が続いている。

[広報部]

先日、広報委員会を開き広報1月号の打合せをした。1月号は新年号で理事長、副理事長、東京返本加工協同組合の理事長の新年の挨拶を掲載する。原稿を12月25日までに提出してほしい。その他では各支部で行われた忘年会の記事を写真入りで載せる予定。又、青年部の会合や忘年会についても記事を提出してほしい。

[事業部]

共同購入について。プレス機のオイル交換の間合わせが来ている。実施が近いものと思われる。新年会は司会を城南支部の坂田支部長、中締めを江墨支部の山口支部長が担当する事になった。出し物は江墨支部より小学生による「ダンス」を予定。終了後は、控え室で夕食の用意をする事になった。

[青年部]

12月10日に忘年会を六本木（バーベキュー）で行う。12月12日に印青連の大忘年会を銀座で行う。

[近代化推進委員会]

需給委員会：平成26年2月9日～13日インドネシア視察を予定。

経営革新委員会：添付の議事録参照。

[その他]

- ・11月末に城南支部の坂田支部長が事故で指を切断する怪我をした。現在、通院中。
- ・共販輸出について：現在行っている上物の共販輸出に裾物(段ボール)を加えてみてはどうかとの意見がでた。直納部で検討し結論を出す予定。

協議事項

- ・古紙持ち去り問題について：前回の理事会で「持ち去り行為」の条文を東京協組の規約に載せる事になり、内容について検討した結果、色々な問題を含んでおり5月の総会までに充分検討して結論を出す事となった。したがって予定していた1月18日の臨時総会は中止となった。

編集後記

広報部副部長 武田 誠一郎

昨年、政権交代によるアベノミクスにより3本の矢の内2本は、成果を上げたと思われます。残りの1本の矢である成長戦略に関しては、我々業界は果たして恩恵を被る事があるのでしょうか？東京オリンピックが開催される頃、東京に住む25%が高齢者です。ますます消費は低迷するのではないのでしょうか。

円安・株高により少なからの潤いが生まれ、内需が少し上向きましたが「禍福は糾^{あざな}える縄の如し」と言いますから油断は禁物。

今年は、午年ですからウマく経済がまわります様に御祈りします。

組合総合名簿の協賛広告について

広報部

この度は、組合総合名簿の協賛広告にご協力いただき誠にありがとうございました。

広報誌では昨年の11月号より2年間に渡り、今回ご協力頂きました企業・団体に対し1回ずつ無料で広告掲載をさせていただきます。掲載の順番や掲載ページは、こちらの都合で行いますのであらかじめご了承願います。(広告を掲載した号の広報誌は、該当の企業・団体にお送りいたします)

今回は、日頃、関係の深い組合及び団体と組合員のお取引先である家庭紙メーカー5社を掲載いたしました。

尚、有料での掲載も可能ですので、ご希望の際は組合までお申し出ください。料金等は下記のようになります。

<広告料金について>

広報誌は、1月号、3月号、6月号、9月号、11月号の年5回発行しております。

掲載と同じ2分の1ページの広告を掲載した場合
年1回の掲載：14,000円

年2回の掲載：26,000円(13,000円×2回)

年3回の掲載：36,000円(12,000円×3回)

年4回の掲載：44,000円(11,000円×4回)

年5回の掲載：50,000円(10,000円×5回)

掲載ページにつきましては広告数によりませんが、最終ページに近い順に掲載する予定です。

お申し込みは、東京都製紙原料協同組合

電話 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880